

障害福祉サービス提供事業所等調査

和歌山県全域集計結果(継続入所系)

14. 療養介護

県全域集計

継続入所系

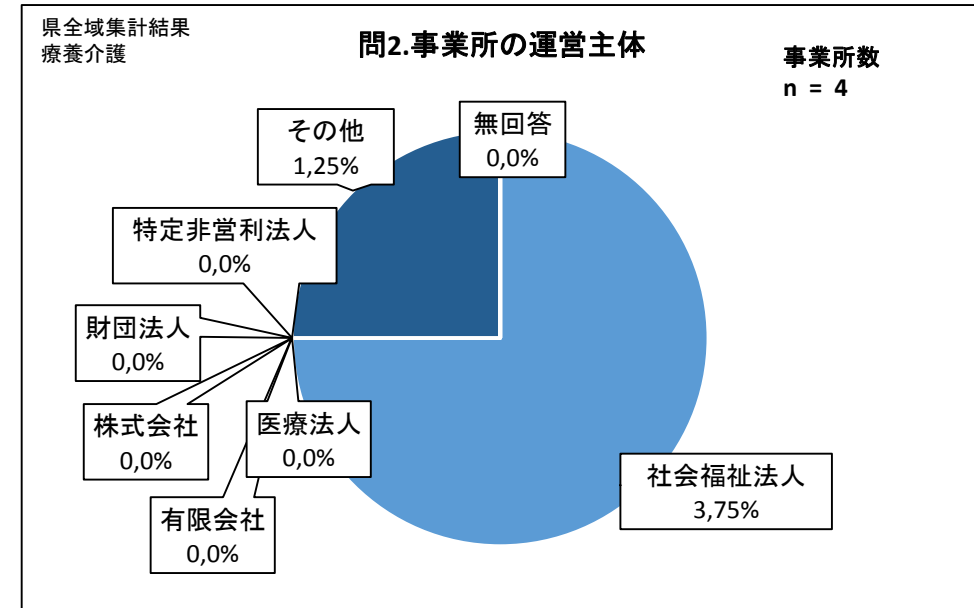
配布数	(有効)回答数	(有効)回答率
4	4	100%

14. 療養介護

問2	運営主体	「社会福祉法人」75%、「その他」25%。
問3	所在地	「那賀・和歌山・日高・西牟婁圏域」各25%、他の圏域は各0%。
問4	契約者数(18歳以上)	「100人以上」50%、「21～30人・51人以上」が各25%。
問5	職員体制	「181人以上」50%、「31～60人・91～120人」が各25%。
問6	医療的ケアが必要な障害児者へのサービス提供の可否	「可能」が100%。
問7	提供可能な医療的ケア	全てのケアについて「提供可能」が100%。
問8	医療的ケアを受けている年齢層(18歳以上)	「40～64歳」が64.3%と多く、「18～39歳」が33.3%、「65歳以上」は2.4%。
問9	障害者手帳と等級(18歳以上)	身体障害者手帳は「1級」が大半で「2級」少数、「無し・不明」各0%。療育手帳は「A1」が大半で他は少数。精神保健福祉手帳については「無し」が36%、他は各0%。
問10	障害支援区分(18歳以上)	「区分6」が97.3%と大半を占めている。「区分5」が2.3%、「不明・未判定」は0.4%。他の区分は各0%。
問11	提供している医療的ケア内容(18歳以上)	「服薬管理」が39.4%と多く、次いで「パルスオキシメーター」21.1%、「胃ろう」10.4%、他のケアについては少数～0%。
問12	超重症児・準超重症児(18歳以上)	「超重症児」39.7%、「準超重症児」60.3%。
問13	医療的ケアが必要な方の利用についての課題	「希望が多く受け入れできない」が75%と最も多く、「3・4・6・8」についても25～50%の回答がある。
問14	医療的ケアが必要な方が利用できない理由	該当しない
問15-①	災害対策マニュアルの定期的な見直し	「行っている」が100%。
問15-②	被災時に備蓄をしている物	全ての物品について75～100%の回答。
問16	医療的ケアが必要な方が安心して生活する為の改善点	「看護師確保の報酬基準を改善すべき」、「圏域内に医療・福祉サービスを備えた施設の整備」が各75%と多い。「2・3」についても各50%の回答がある。
	傾向と評価	事業所の運営主体は社会福祉法人が大半であり、所在地は那賀・和歌山・日高・西牟婁圏域となっている。サービス提供については、可能100%。医療的ケアについては、項目にある全てのケアについて提供可能である。利用されている方の年齢層は、40～64歳が64.3%、18～39歳が33.3%、65歳以上は2.4%、超重症児39.7%、準超重症児60.3%である。利用についての課題は、希望が多く受け入れできないが75%と最も多く、次いで看護師確保困難と受け入れの為の設備改修資金がないが各50%である。

問2. 事業所の運営主体

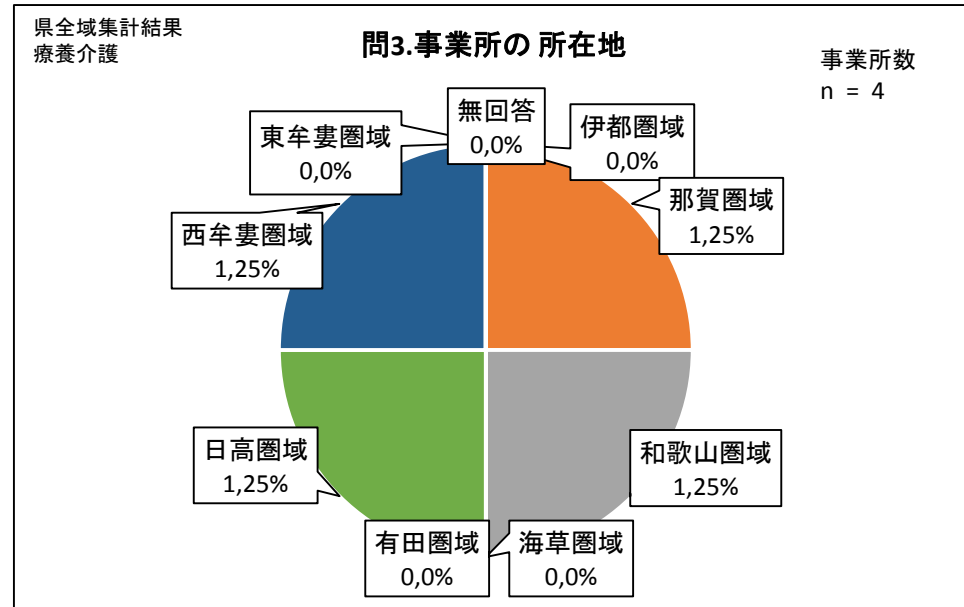
	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
社会福祉法人	0	1	1	0	0	0	1	0	3	75.0%
財団法人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
特定非営利法人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
株式会社	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
有限会社	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
医療法人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
その他	0	0	0	0	0	1	0	0	1	25.0%
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
事業所数合計	0	1	1	0	0	1	1	0	4	100.0%



問2	運営主体	「社会福祉法人」75%、「その他」25%。
----	------	-----------------------

問3. 事業所の所在地

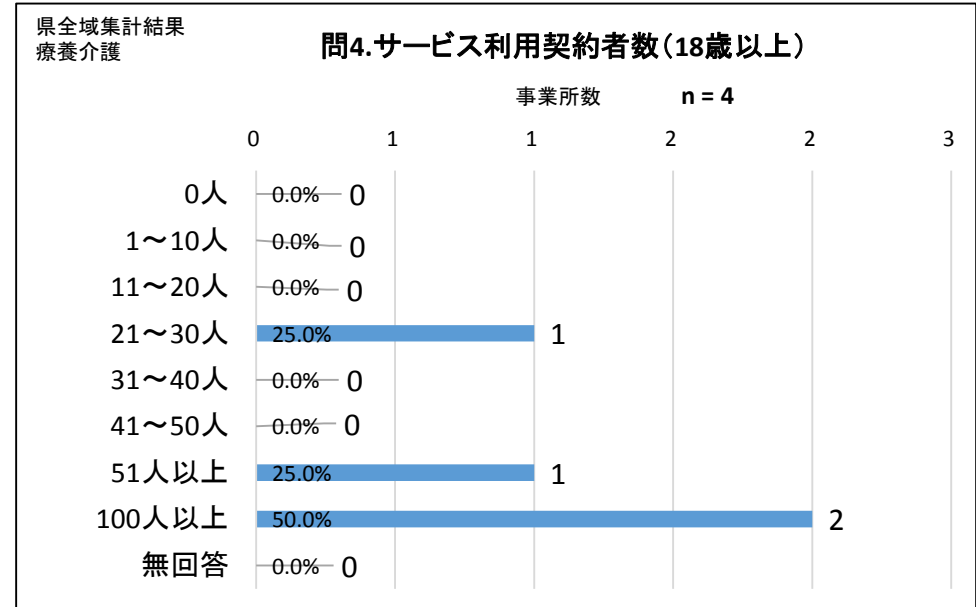
所在地	事業所数	%
伊都圏域	0	0.0%
那賀圏域	1	25.0%
和歌山圏域	1	25.0%
海草圏域	0	0.0%
有田圏域	0	0.0%
日高圏域	1	25.0%
西牟婁圏域	1	25.0%
東牟婁圏域	0	0.0%
無回答	0	0.0%
事業所数合計	4	100.0%



問3	所在地	「那賀・和歌山・日高・西牟婁圏域」各25%、他の圏域は各0%。
----	-----	---------------------------------

問4. サービスを利用している契約者数(18歳以上)

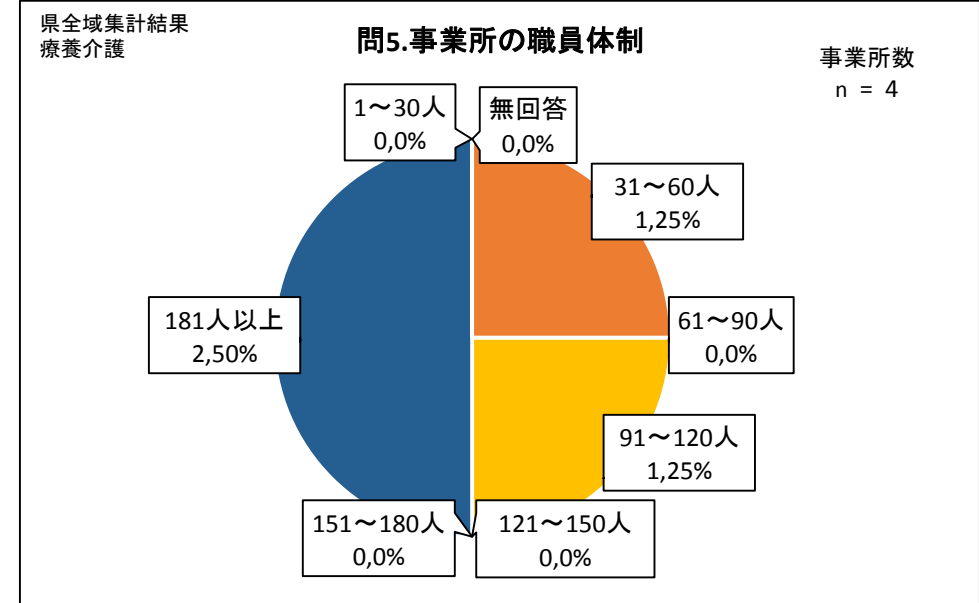
	県全域合計	%
0人	0	0.0%
1～10人	0	0.0%
11～20人	0	0.0%
21～30人	1	25.0%
31～40人	0	0.0%
41～50人	0	0.0%
51人以上	1	25.0%
100人以上	2	50.0%
無回答	0	0.0%
事業所数合計	4	100.0%



問4	契約者数 (18歳以上)	「100人以上」50%、「21～30人・51人以上」が各25%。
----	-----------------	----------------------------------

問5. 事業所の職員体制

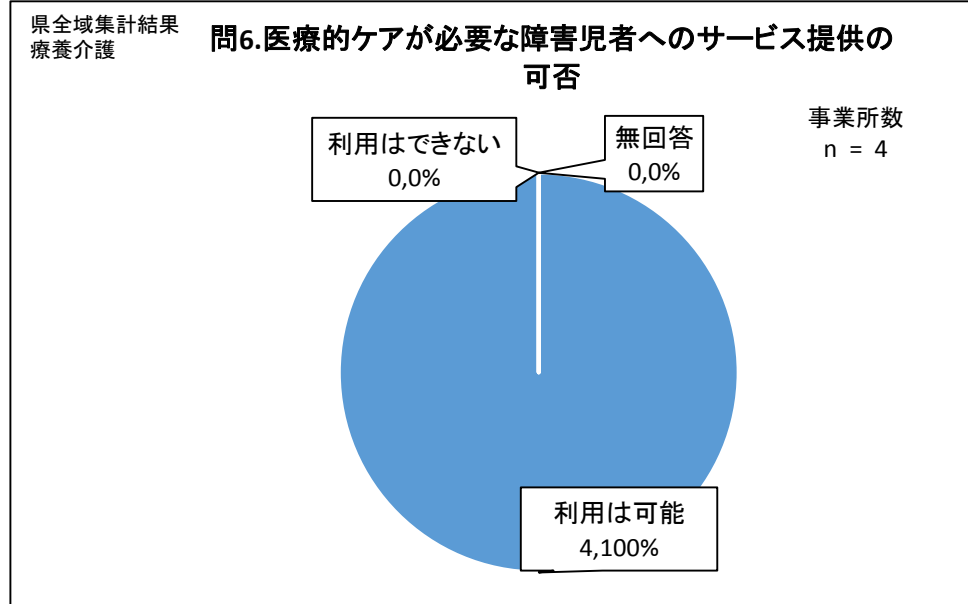
	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
1～30人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
31～60人	0	0	1	0	0	0	0	0	1	25.0%
61～90人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
91～120人	0	0	0	0	0	0	1	0	1	25.0%
121～150人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
151～180人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
181人以上	0	1	0	0	0	1	0	0	2	50.0%
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
事業所数合計	0	1	1	0	0	1	1	0	4	100.0%



問5	職員体制	「181人以上」50%、「31～60人・91～120人」が各25%。
----	------	------------------------------------

問6. 医療的ケアが必要な障害児者へのサービス提供の可否

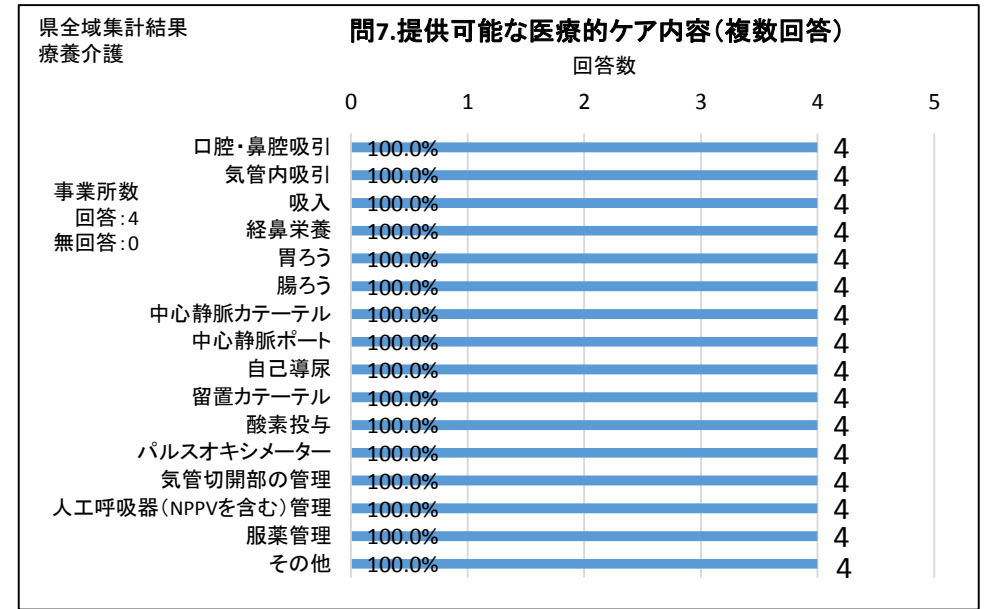
	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
利用は可能	0	1	1	0	0	1	1	0	4	100.0%
利用はできない	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
事業所数合計	0	1	1	0	0	1	1	0	4	100.0%



問6	医療的ケアが必要な障害児者へのサービス提供の可否	「可能」が100%。
----	--------------------------	------------

問7. 提供可能な医療的ケアの内容(複数回答)

		伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
吸引	口腔・鼻腔吸引	0	1	1	0	0	1	1	0	4	100.0%
	気管内吸引	0	1	1	0	0	1	1	0	4	100.0%
経管栄養	吸入	0	1	1	0	0	1	1	0	4	100.0%
	経鼻栄養	0	1	1	0	0	1	1	0	4	100.0%
	胃ろう	0	1	1	0	0	1	1	0	4	100.0%
中心静脈 栄養	腸ろう	0	1	1	0	0	1	1	0	4	100.0%
	カテーテル ポート	0	1	1	0	0	1	1	0	4	100.0%
導尿	自己導尿	0	1	1	0	0	1	1	0	4	100.0%
	留置カテーテル	0	1	1	0	0	1	1	0	4	100.0%
	酸素投与	0	1	1	0	0	1	1	0	4	100.0%
	パルスオキシメーター	0	1	1	0	0	1	1	0	4	100.0%
	気管切開部の管理	0	1	1	0	0	1	1	0	4	100.0%
	人工呼吸器(NPPVを 含む)管理	0	1	1	0	0	1	1	0	4	100.0%
	服薬管理	0	1	1	0	0	1	1	0	4	100.0%
	その他	0	1	1	0	0	1	1	0	4	100.0%
	回答事業所数	0	1	1	0	0	1	1	0	4	
	無回答事業所数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
事業所数合計	0	1	1	0	0	1	1	0	4		

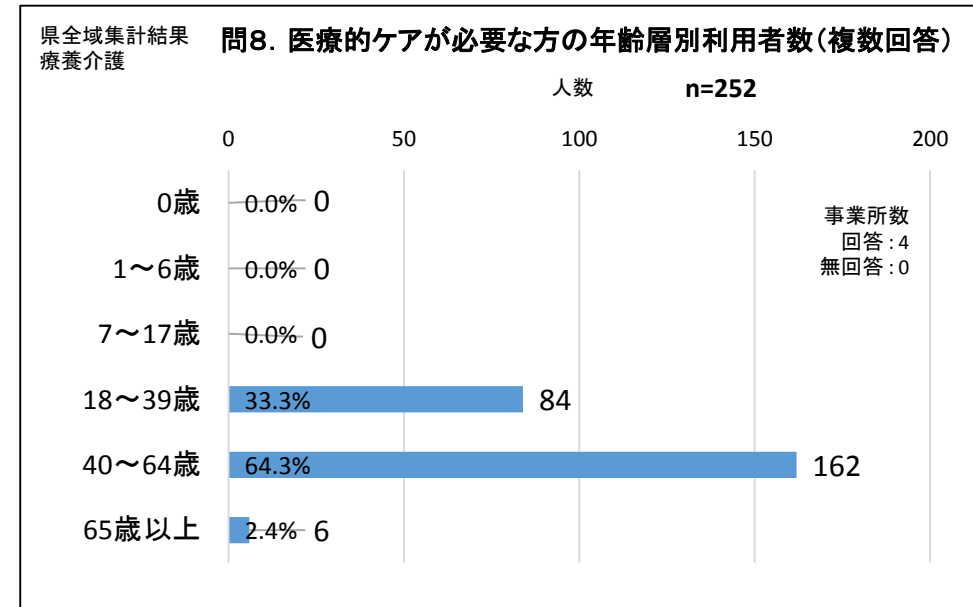


問7	提供可能な医療的ケア	全てのケアについて「提供可能」が100%。
----	------------	-----------------------

問8. 利用している医療的ケアが必要な方の年齢層別利用者数

(複数回答) ※(圏域事業所の合計人数)(18歳以上)

	県全域合計	%
0歳	0	0.0%
1～6歳	0	0.0%
7～17歳	0	0.0%
18～39歳	84	33.3%
40～64歳	162	64.3%
65歳以上	6	2.4%
合計人数	252	100.0%
回答事業所数	4	
無回答事業所数	0	
事業所数合計	4	

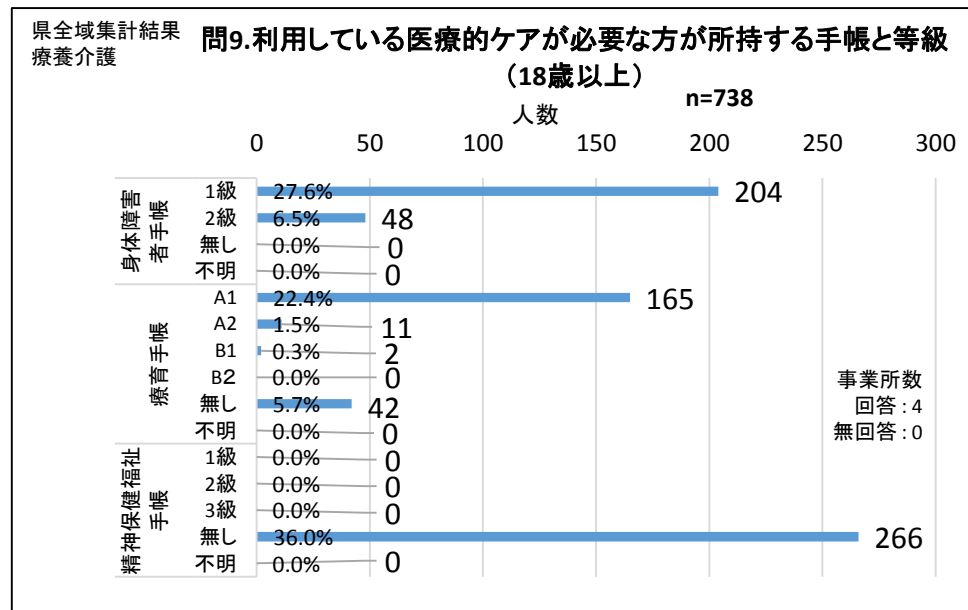


問8	医療的ケアを受けている年齢層 (18歳以上)	「40～64歳」が64.3%と多く、「18～39歳」が33.3%、「65歳以上」は2.4%。
----	---------------------------	--

問9. 医療的ケアが必要な方の障害者手帳と等級

※(圏域事業所の合計人数)(18歳以上)

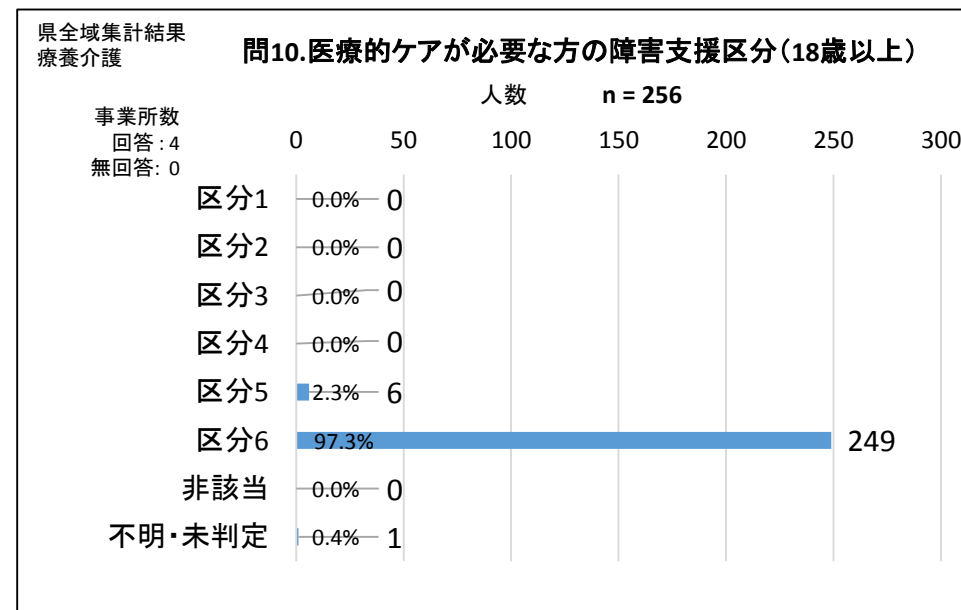
		県全域合計	%
身体障害者手帳	1級	204	27.6%
	2級	48	6.5%
	無し	0	0.0%
	不明	0	0.0%
療育手帳	A1	165	22.4%
	A2	11	1.5%
	B1	2	0.3%
	B2	0	0.0%
	無し	42	5.7%
	不明	0	0.0%
精神保健福祉手帳	1級	0	0.0%
	2級	0	0.0%
	3級	0	0.0%
	無し	266	36.0%
	不明	0	0.0%
	合計人数	738	100.0%
回答事業所数	4		
無回答事業所数	0		
事業所数合計	4		



問9	障害者手帳と等級 (18歳以上)	身体障害者手帳は「1級」が大半で「2級」少数、「無し・不明」各0%。療育手帳は「A1」が大半で他は少数。 精神保健福祉手帳については「無し」が36%、他は各0%。
----	---------------------	--

問10. 医療的ケアが必要な方の障害者総合支援法による
障害支援区分(程度区分)※(圏域事業所の合計人数)(18歳以上)

	県全域合計	%
区分1	0	0.0%
区分2	0	0.0%
区分3	0	0.0%
区分4	0	0.0%
区分5	6	2.3%
区分6	249	97.3%
非該当	0	0.0%
不明・未判定	1	0.4%
合計人数	256	100.0%
回答事業所数	4	
無回答事業所数	0	
事業所数合計	4	

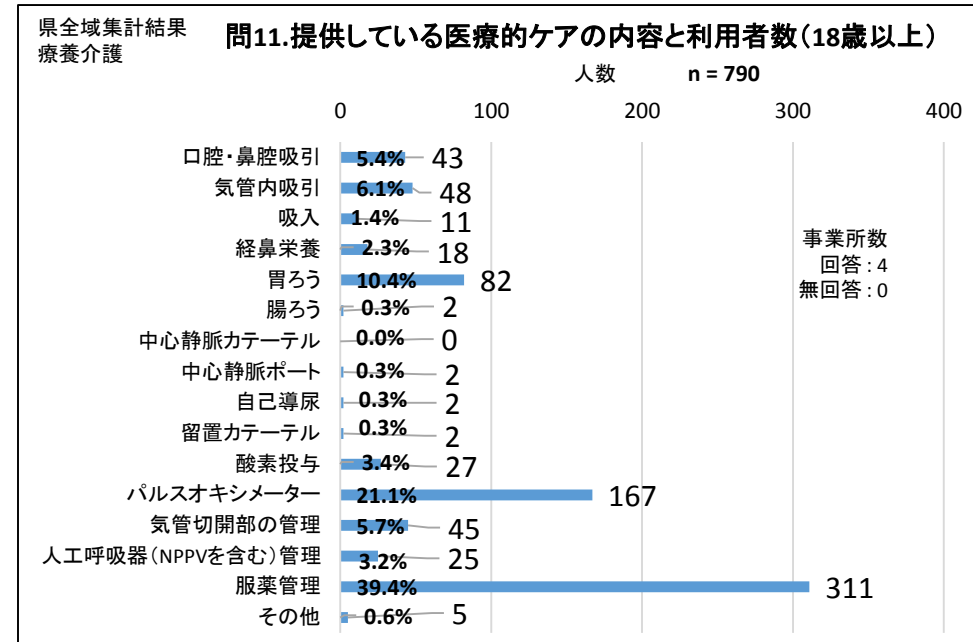


問10	障害支援区分 (18歳以上)	「区分6」が97.3%と大半を占めている。「区分5」が2.3%、「不明・未判定」は0.4%。他の区分は各0%。
-----	-------------------	---

問11. 医療的ケアが必要な方に提供しているサービス内容と利用者数

※(圏域事業所の合計人数)(18歳以上)

		県全域合計	%
吸引	口腔・鼻腔吸引	43	5.4%
	気管内吸引	48	6.1%
	吸入	11	1.4%
経管栄養	経鼻栄養	18	2.3%
	胃ろう	82	10.4%
	腸ろう	2	0.3%
中心静脈栄養	カテーテル	0	0.0%
	ポート	2	0.3%
導尿	自己導尿	2	0.3%
	留置カテーテル	2	0.3%
その他	酸素投与	27	3.4%
	パルスオキシメーター	167	21.1%
	気管切開部の管理	45	5.7%
	人工呼吸器(NPPVを含む)管理	25	3.2%
	服薬管理	311	39.4%
	その他	5	0.6%
	合計人数	790	100.0%
回答事業所数		4	
無回答事業所数		0	
事業所数合計		4	

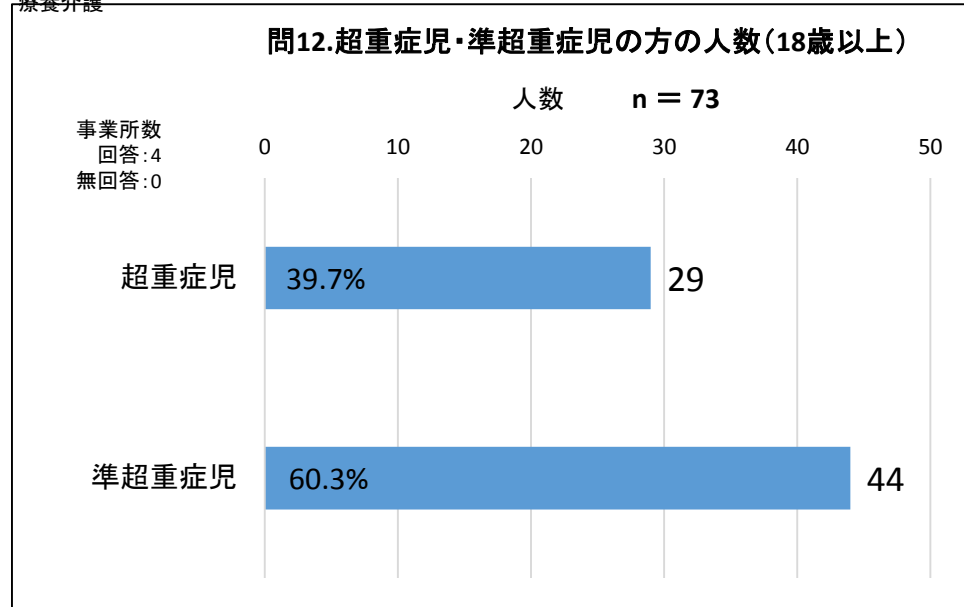


問11	提供している医療的ケア内容(18歳以上)	「服薬管理」が39.4%と多く、次いで「パルスオキシメーター」21.1%、「胃ろう」10.4%、他のケアについては少数～0%。
-----	----------------------	---

問12. 超重症児・準超重症児の方の人数(18歳以上)

	県全域合計	%
超重症児	29	39.7%
準超重症児	44	60.3%
合計人数	73	100.0%
回答事業所数	4	
無回答事業所数	0	
事業所数合計	4	

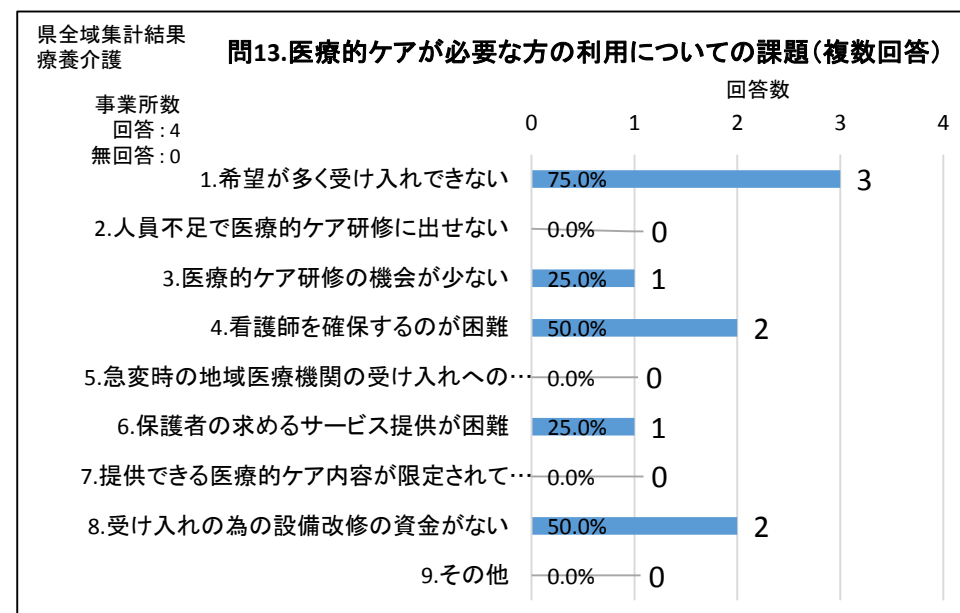
県全域集計結果
療養介護



問12	超重症児・準超重症児 (18歳以上)	「超重症児」39.7%、「準超重症児」60.3%。
-----	-----------------------	---------------------------

問13. 医療的ケアが必要な方の利用について課題となっている内容(複数回答)

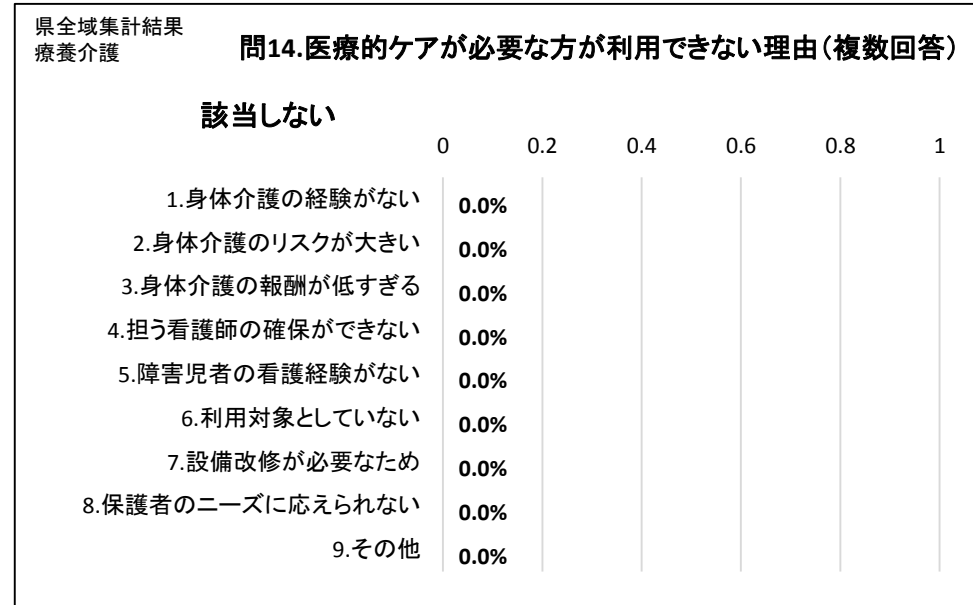
	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
1.希望が多く受け入れできない	0	1	1	0	0	0	1	0	3	75.0%
2.人員不足で医療的ケア研修に出せない	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
3.医療的ケア研修の機会が少ない	0	1	0	0	0	0	0	0	1	25.0%
4.看護師を確保するのが困難	0	0	1	0	0	1	0	0	2	50.0%
5.急変時の地域医療機関の受け入れへの不安	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
6.保護者の求めるサービス提供が困難	0	0	1	0	0	0	0	0	1	25.0%
7.提供できる医療的ケアが限定されている	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
8.受け入れの為に設備改修の資金がない	0	1	1	0	0	0	0	0	2	50.0%
9.その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
回答事業所数	0	1	1	0	0	1	1	0	4	
無回答事業所数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
事業所数合計	0	1	1	0	0	1	1	0	4	



問13	医療的ケアが必要な方の利用についての課題	「希望が多く受け入れできない」が75%と最も多く、「3・4・6・8」についても25～50%の回答がある。
-----	----------------------	--

問14. 医療的ケアが必要な方が利用できない理由(複数回答)

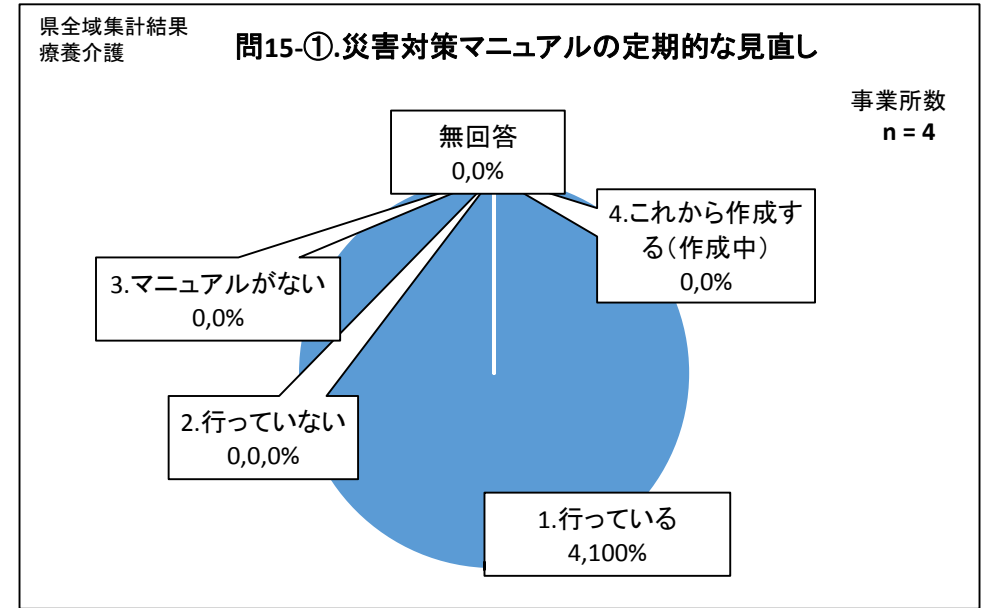
	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
1.身体介護の経験がない	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
2.身体介護のリスクが大きい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
3.身体介護の報酬が低すぎる	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
4.担う看護師の確保ができない	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
5.障害児者の看護経験がない	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
6.利用対象としていない	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
7.設備改修が必要なため	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
8.保護者のニーズに応えられない	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
9.その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
回答事業所数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
無回答事業所数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
事業所数合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	



問14	医療的ケアが必要な方が利用できない理由	該当しない
-----	---------------------	-------

問15-①.事業所の災害対策マニュアルの定期的な見直しについて

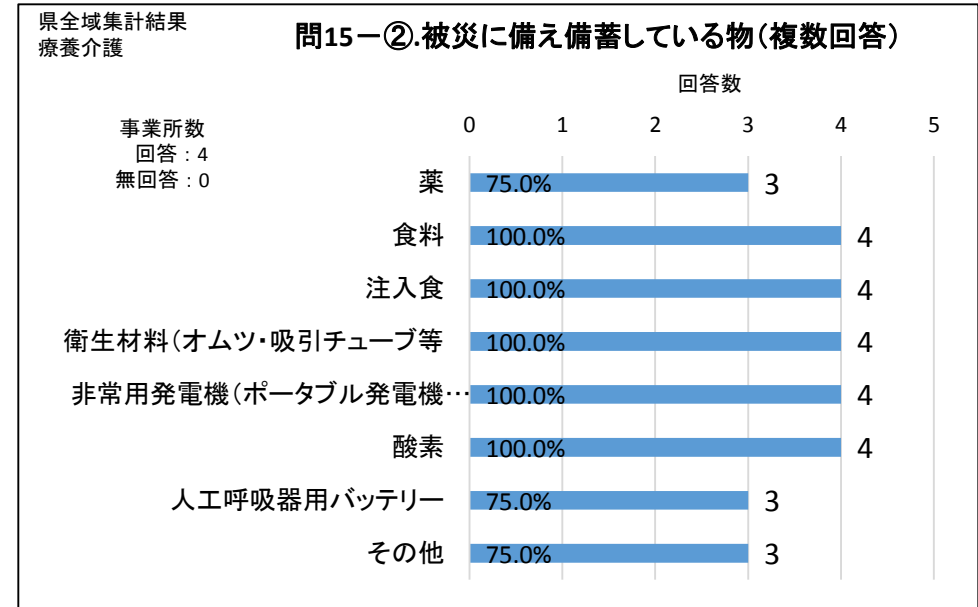
	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
1.行っている	0	1	1	0	0	1	1	0	4	100.0%
2.行っていない	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
3.マニュアルがない	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
4.これから作成する (作成中)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
事業所数合計	0	1	1	0	0	1	1	0	4	100.0%



問15-①	災害対策マニュアルの定期的な見直し	「行っている」が100%。
-------	-------------------	---------------

問15-②.被災に備え備蓄している物(複数回答)

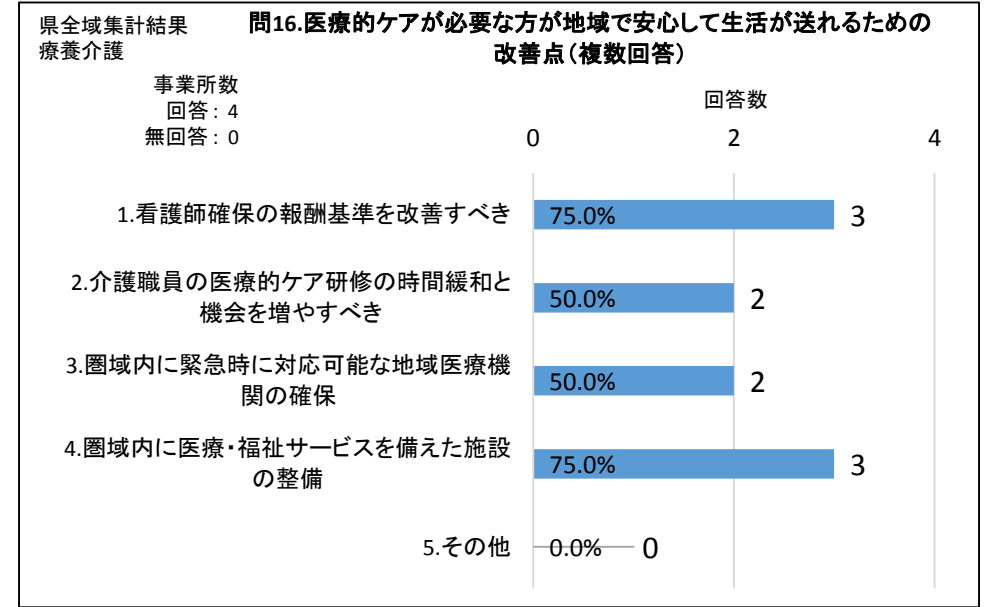
	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
薬	0	1	0	0	0	1	1	0	3	75.0%
食料	0	1	1	0	0	1	1	0	4	100.0%
注入食	0	1	1	0	0	1	1	0	4	100.0%
衛生材料(オムツ・吸引 チューブ等)	0	1	1	0	0	1	1	0	4	100.0%
非常用発電機(ポータブル 発電機を含む)	0	1	1	0	0	1	1	0	4	100.0%
酸素	0	1	1	0	0	1	1	0	4	100.0%
人工呼吸器用バッテリー	0	1	0	0	0	1	1	0	3	75.0%
その他	0	1	1	0	0	0	1	0	3	75.0%
回答事業所数	0	1	1	0	0	1	1	0	4	
無回答事業所数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
事業所数合計	0	1	1	0	0	1	1	0	4	



問15-②	被災時用に備蓄をしている物	全ての物品について75～100%の回答。
-------	---------------	----------------------

問16.医療的ケアが必要な方が地域で安心して生活を送れるようにするための改善点(複数回答)

	伊都	那賀	和歌山	海草	有田	日高	西牟婁	東牟婁	県全域 合計	%
1.医療的ケアに従事する看護師を安定的に確保できるよう診療報酬を改善すべき	0	1	1	0	0	1	0	0	3	75.0%
2.医療的ケアが実施できる介護職員が増えるよう、介護職員の医療的ケア研修時間の緩和、研修機会を増やすべき	0	1	0	0	0	1	0	0	2	50.0%
3.一定の圏域内に緊急時に対応可能な地域医療機関を確保すべき	0	1	0	0	0	1	0	0	2	50.0%
4.圏域内に医療・訪問看護・通園事業・居宅介護、短期入所、移動支援、相談支援等の機能を備えた施設の整備をすべき	0	1	1	0	0	0	1	0	3	75.0%
5.その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
回答事業所数	0	1	1	0	0	1	1	0	4	
無回答事業所数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
事業所数合計	0	1	1	0	0	1	1	0	4	



問16	医療的ケアが必要な方が安心して生活する為の改善点	「看護師確保の報酬基準を改善すべき」、「圏域内に医療・福祉サービスを備えた施設の整備」が各75%と多い。「2・3」についても各50%の回答がある。
-----	--------------------------	---

傾向と評価	<p>事業所の運営主体は社会福祉法人が大半であり、所在地は那賀・和歌山・日高・西牟婁圏域となっている。サービス提供については、可能が100%。医療的ケアについては、項目にある全てのケアについて提供可能である。利用されている方の年齢層は、40～64歳が64.3%、18～39歳が33.3%、65歳以上は2.4%。</p> <p>超重症児39.7%、準超重症児60.3%である。</p> <p>利用についての課題は、希望が多く受け入れできないが75%と最も多く、次いで看護師確保困難と受け入れの為の設備改修資金がないが各50%である。</p>
-------	---